



2020年3月24日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ナ ッ ク  
 代 表 取 締 役 社 長 吉 村 寛  
 (コード番号 9788 東証第1部)  
 問 合 せ 先 ビジネスサポート本部長 川上 裕也  
 (TEL. 03-3346-2111)

**2020年3月期通期業績予想の修正、特別損失の計上、  
 配当予想の修正及び役員報酬自主返納に関するお知らせ**

当社は、本日開催の取締役会において、2019年5月15日に公表いたしました2020年3月期通期業績予想及び1株あたり配当予想を修正することを決議いたしましたので下記のとおりお知らせします。

記

1. 2020年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2019年4月1日~2020年3月31日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	100,200	2,200	2,150	1,000	44.63
今回修正予想 (B)	88,000	1,800	1,700	130	6.65
増 減 額 (B - A)	△12,200	△400	△450	△870	
増 減 率 ( % )	△12.2	△18.2	△20.9	△87.0	
(参考) 前期連結実績 (2019年3月期)	89,111	2,037	2,081	798	24.65

2. 2020年3月期通期個別業績予想数値の修正 (2019年4月1日~2020年3月31日)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	31,900	1,900	1,450	64.72
今回修正予想 (B)	31,600	2,800	740	32.82
増 減 額 (B - A)	△300	900	△710	
増 減 率 ( % )	△1.0	47.4	△49.0	
(参考) 前期連結実績 (2019年3月期)	31,130	3,272	1,169	59.04

3. 業績予想修正の理由と特別損失の計上等の内容

(1) 連結業績について

売上高は、前回発表から12,200百万円、12.2%減少の88,000百万円となる予定です。これは住宅事業と美容・健康事業において計画を下回ったことによります。住宅事業の中核子会社であるレオハウスにおいては、期中の受注数が伸び悩んだことに加え、新型コロナウイルスの影響で住宅設備の納品が滞ったことで引渡の遅れが発生し、売上高が計画を下回る見込みです。美容・健康事業においては、子会社のJIMOSで化粧品通販の自社ECサイトのサーバーへの不正アクセスが発覚し、2019年8月より12月までECサイトを停止、新規取扱や定期購入を一時的に停止したため、売上高が計画比減少する見込みとなりました。

なお、新型コロナウイルスの影響につきまして、建築コンサルティング事業のノウハウ商品販売部門においても、セミナーを入り口にした営業活動を展開しているため、セミナーの参加者数や開催数が減少したことに伴い売上高が計画比減少する見込みです。また、同事業の建築部資材販売部門において商材の納品が遅れており、売上高の減少が見込まれております。一方で、クリクラ事業とレンタル事業においては除菌関連商品の販売が大幅に伸長しておりますが、上記を補填するには至りませんでした。

親会社株主に帰属する当期純利益は前回発表から870百万円、87.0%減少の130百万円となる予定です。これは売上高の減少に起因した営業利益の400百万円の下振れに加え、以下の特別損失650百万円を計上することによります。

・レオハウス不採算店舗の減損損失等	370百万円
・上記を除く子会社における減損損失	115百万円
・その他特別損失	165百万円

## (2) 個別業績

経常利益は、前回発表から900百万円、47.4%増加の2,800百万円となる予定です。これは、クリクラ事業・レンタル事業において人件費と販売促進費を中心とした販売費及び一般管理費を削減したことによります。

当期純利益は、前回発表から710百万円、49.0%減少の740百万円となる予定です。これは、経常利益の増加があったものの、以下の特別損失1,394百万円を計上することによります。

・関係会社株式評価損	1,390百万円
・その他特別損失	4百万円

## 4. 配当予想の修正

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回発表予想 (2019年5月15日発表)	円 銭 —	円 銭 9.00	円 銭 —	円 銭 27.00	円 銭 36.00
今回修正予想	—	—	—	0.00	9.00
当期実績	—	9.00	—		
前期実績 (2019年3月期)	—	8.00	—	26.00	34.00

### 配当予想修正の理由

当社は、将来の事業展開と経営体質強化のために必要な内部留保を確保しつつ、積極的かつ、長期にわたり継続的・安定的に利益還元を行うことを配当政策の基本方針として、具体的数字基準を「連結純資産配当率4%」、ただし「配当性向100%以内」としております。

しかしながら、本日発表の上記業績予想の修正に伴い連結純資産額が予想を下回る見込みとなった状況を鑑み、2020年3月期の期末配当につきましては、無配とさせていただく可能性があるため配当予想を修正いたしました。この場合、年間配当金は9円となります。なお、新型コロナウイルスの影響などが確定し、期末配当金に変動がある場合は、判明次第公表させていただきます。

## 5. 役員報酬自主返納の内容

業績予想の修正及び配当予想の修正により、社外取締役と社外監査役を除く、当社取締役会長の寺岡 豊彦、代表取締役社長の吉村 寛、取締役である川上 裕也、小磯 雄一郎、脇本 和好及び監査役の遠藤 彰子の6名は、2020年3月期の役員報酬1ヶ月分を自主返納いたします。